

令和 6 年度 事業報告書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 3 1 日



一般財団法人 大田区環境公社

目 次

令和 6 年度事業報告	P. 1
1 可燃ごみ収集業務	P. 2
2 粗大ごみ受付センターによる粗大ごみ申告受付業務	P. 3
3 粗大ごみ受入、分別・積替え業務	P. 4
4 資源持ち去り防止パトロール業務	P. 6
5 調布清掃事業庁舎における窓口等業務	P. 7
6 食品ロス削減に関する普及啓発等業務	P. 7
7 職員の健康の維持・増進に関する取り組み	P. 12
8 理事会、評議員会及び評議員選定委員会の開催	P. 12
一般財団法人 大田区環境公社 令和 6 年度役員名簿	P. 14

令和6年度事業報告

一般財団法人大田区環境公社（以下「公社」という。）は、業務拡充に伴い、令和4年度から旧調布清掃事務所の庁舎に公社の本部機能に移転し、田園調布本部と京浜島の環境資源センターの2所体制としております。

事業面では、可燃ごみ収集業務について、令和5年度から収集範囲を、調布地区全域及び大森地区の一部に受託拡大し、令和6年度は大田区全体の可燃ごみ収集量の39%を公社が収集しました。

粗大ごみについては、環境資源センターで受入、分別・積替え業務を行うとともに、令和5年度から、新たに粗大ごみ申告受付業務を受託し、大田区単独で粗大ごみ受付収集システムを導入した上で、粗大ごみ受付センターの運営に取り組んでいます。

また、令和4年度から開始した資源持ち去り防止パトロール業務、調布清掃事業庁舎における窓口等業務、食品ロスに関する普及啓発等業務は継続実施し、公社定款第4条に定める4項目全ての部門において事業を展開しています。

公社は、今後も大田区の外郭団体としての責務を自覚し、大田区とともに、持続可能な環境先進都市おおたの実現に向け、着実に事業を推進して参ります。

一般財団法人大田区環境公社

理事長 安藤 充

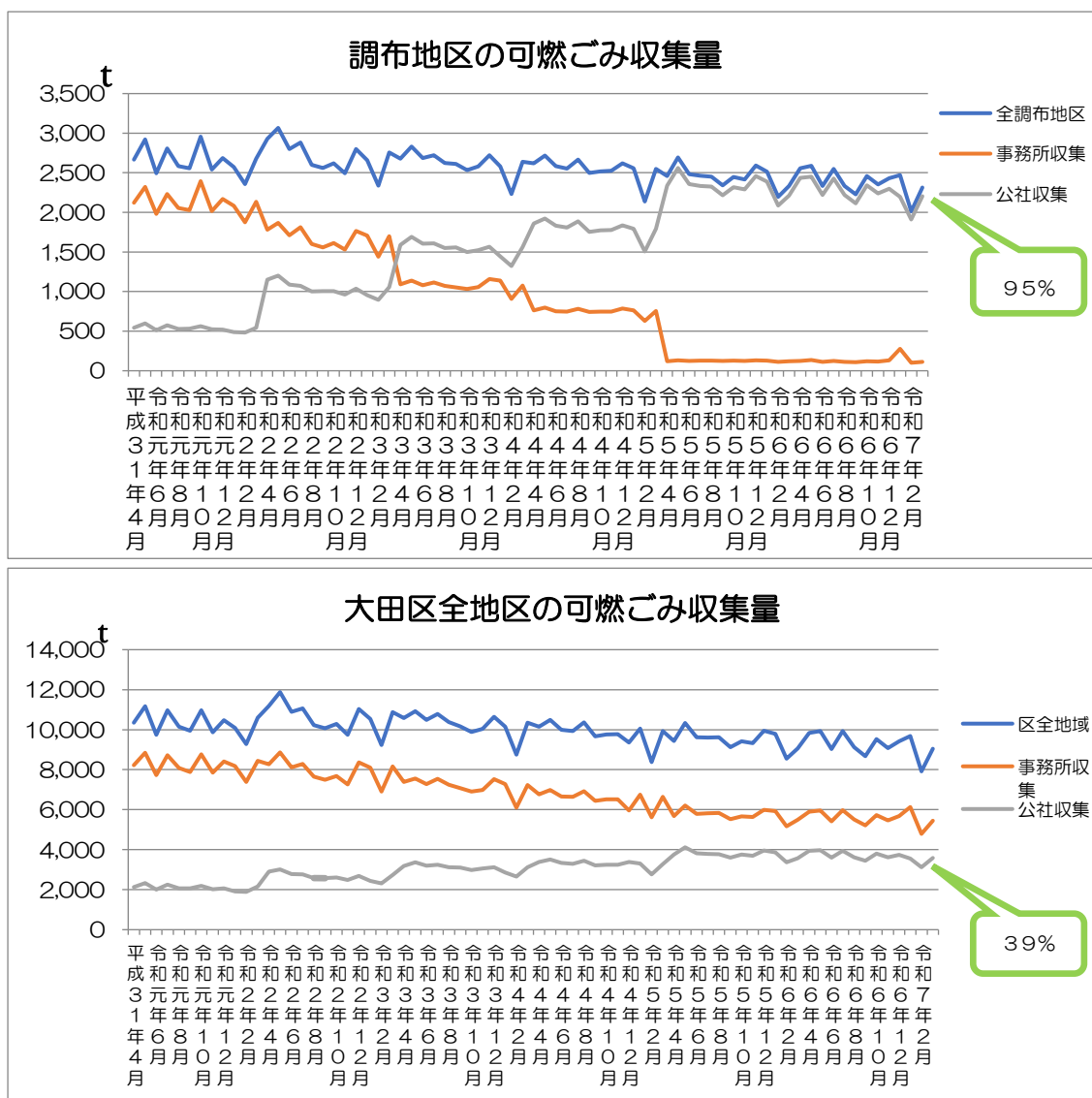
- (1) 区が契約する雇上会社から配車された収集車で、集積所に排出された可燃ごみを収集した。
- (2) 不適正な排出物(可燃ごみ以外の不燃ごみや粗大ごみ等)がある場合、警告シールを貼付し、所管の清掃事務所に報告した。
- (3) 収集受託地域

令和6年度可燃ごみ収集受託地域



清掃車（小型プレス車）23台/日相当分





2 粗大ごみ受付センターによる粗大ごみ申告受付業務

東京都環境公社による粗大ごみ申告受付業務が終了したため、令和5年度から大田区単独で粗大ごみ受付収集システムを導入すると共に粗大ごみ受付センターを開設し、粗大ごみの処分を希望する区民からの申告受付業務を開始した。

(1) 粗大ごみ受付収集システムの導入

大田区環境公社、大田区役所本庁舎、各清掃事務所、粗大ごみ受付センター及びデータセンターを結ぶネットワークを構築の上、収集業務にタブレット端末を導入し、リアルタイムでの収集情報（収集済・未収集、排出状況写真等）の登録及び車両の運行管理を行った。

(2) 粗大ごみ受付センターによる申告受付業務

区民から電話による申告・相談等を受ける受付センターを開設した。

受付センターは、粗大申告受付だけでなく、従来、清掃事務所にて受けて

いた、ごみ全般に関しての区民からの相談、質問にも対応した。

(3) 粗大ごみ受付収集システムによるインターネット受付業務

導入した粗大ごみ受付収集システムを活用し、区民からのインターネットによる直接申込みを令和5年4月1日から開始した。

※ 令和6年度申告等受付件数等

月	電話受付	Web 受付	電話相談	合計件数
4 月	11, 327	22, 278	2, 386	35, 991
5 月	11, 818	22, 008	2, 375	36, 201
6 月	10, 520	20, 875	2, 129	33, 524
7 月	10, 778	21, 023	2, 229	34, 030
8 月	9, 983	20, 404	2, 144	32, 531
9 月	10, 259	21, 398	2, 235	33, 892
10 月	12, 336	21, 134	2, 384	35, 854
11 月	13, 890	23, 527	3, 421	40, 838
12 月	12, 496	24, 853	2, 380	39, 729
1 月	10, 656	23, 131	2, 092	35, 879
2 月	10, 212	20, 010	1, 955	32, 177
3 月	12, 117	22, 444	2, 481	37, 042
合計	136, 392	263, 085	28, 211	427, 688

3 粗大ごみ受入、分別・積替え業務

(1) 粗大ごみ自己持込受入業務

申込みにより区民自ら持ち込む粗大ごみを環境資源センターで受け入れた。

ア 受入時間

月曜日から土曜日	午後 1 時から午後 4 時まで
日曜日	午前 9 時から午後 4 時まで

※ 受入除外日：令和6年12月29日から令和7年1月3日まで

イ 受入実績

月曜日から土曜日	6,646 件（1 日平均 23 件）
日曜日	10,675 件（1 日平均 213 件）

（2） 粗大ごみ分別・積替え（中継）業務

環境資源センターに自己持込された粗大ごみ並びに大森清掃事務所及び蒲田清掃事務所（調布地区）管内で収集された粗大ごみについて、大田区京浜島中継所において可燃系、不燃系、資源物等に分別し、それぞれ区が契約する雇上会社から配車された中継車両に積替えた。

作業時間	月曜日から土曜日までの午前 8 時から午後 4 時まで
中継実績	3,393.09 トン（1 日平均 10.8 トン）



【環境資源センター】

4 資源持ち去り防止パトロール業務

集積所に排出された新聞・雑誌・段ボール・缶等の資源物の持ち去りを防止するため、車両により巡回パトロールを実施した。



【パトロール車両】



【啓発チラシ】

持ち去り行為者等を発見した場合、疑わしい場合は啓発のチラシを配付し、持ち去りを現認した場合は日時と場所等を記載した現認通知書を交付した。

また、集積所に排出された資源物への持ち去り禁止シールの貼付も実施した。

《 パトロールにおける指導実績 》

	指導内容（件）			
	口頭注意	チラシ配付	通知書交付	シール貼付
4月		57	11	764
5月		46	18	899
6月		40	19	783
7月		35	15	786
8月		33	20	597
9月		24	14	597
10月	8	35	30	973
11月	6	30	32	1,004
12月	12	28	40	1,139
1月	7	27	36	995
2月	4	18	29	1,017
3月	2	17	31	1,026
合 計	39	390	295	10,580

実施日は、日曜日及び年末年始（12/31～1/3）を除く毎日

5 田園調布本部（調布清掃事業庁舎）における窓口等業務

田園調布本部（調布清掃事業庁舎）において、区の清掃事務所窓口業務の一部を実施。受付時間は、日曜日及び年末年始（12/31～1/3）を除く 8 時 30 分から 16 時まで。

主な業務内容は、防鳥用ネットの貸し出し、集団回収実績報告書の取次ぎ、小型家電回収ボックスの設置、その他区の清掃事務所所管事業に関する問い合わせ等の取次ぎなど。防鳥用ネットについては、令和 6 年度は小：209 枚、大：116 枚を貸し出した。

6 食品ロス削減に関する普及啓発等業務

区民及び区内事業者等に対する食品ロス削減を目的として、大田区から委託を受け、次のとおり普及啓発事業を実施した。

（1）食品ロス削減に係る出前授業

将来を担う区内小中学生を対象に、食品ロス削減について「知る」「考える」きっかけとなる出前授業について、新たな協力事業者にカルビーが加わり 7 校（延べ 8 回、518 名）で実施した。※前年度実績は 5 校 380 名

令和 6 年度においては、啓発活動で使用する冊子を以下のとおり新規作成し、出前授業をはじめイベント等で配布した。

また、区民等を対象にした食品ロス削減に関する出前講座等について、令和 7 年度からの本格実施に向け 3 地区でイベントへの出展及び出前講座の形式で試行的に実施した。イベントでの出展に際しては、カルビーからスナック菓子等の提供を、出前講座では、東京ガスが講師となるなど、事業者との連携により取組みを拡充した。

【新規に作成した食品ロス削減普及啓発用冊子（A3・二つ折り）】



表紙

中面

裏表紙

【区民等を対象にした食品ロス削減に係る出前講座等（試行）】

新井宿地区 11月3日（日） 福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー（大田文化の森会場）に出展し、「もったいないゲーム（注1）」を行った。来場者には、食ロス削減リーフレット、食べきり応援団チラシと参加賞（カルビー提供のシリアル）を配布した。また、ブースにパネルを掲示し啓発した。	
六郷地区 2月16日（日） 六郷ふれあいフェスタ（六郷地域力推進センター）に出展し、パネル展示を行うとともに、「もったいないゲーム」を行った。来場者には、食ロス削減リーフレット、食べきり応援団チラシと参加賞（カルビー提供のお菓子等）を配布した。また、食品ロス削減に関するアンケートを実施し記念品を配布した。	
久が原地区 3月17日（月） 久が原地区地域力推進会議（久が原特別出張所会議室）において、出前講座を実施した。大田区環境公社から、学校での出前授業プログラムをベースとした食品ロスに係る基本的な内容及び食品ロスの削減につながる行動を説明し、続けて、東京ガスから「はじめよう！エコ・クッキング」と題し、環境にやさしい食生活に関するお話をいただき、協力事業者と連携した講座を実施した。	

注1：賞味期限・消費期限をクイズ形式で楽しみながら理解してもらうゲーム

（2）大田区食べきり応援団の管理業務

食べきり応援団の加盟店舗数は59件（令和7年3月31日現在）。

公社では、食べきり応援団普及啓発のチラシを作成し、登録店舗及び特別出張所や図書館等の区施設で配布した。また、新規普及啓発資材（ステッカー）を作成し登録事業者へ配布するとともに、課題把握のためのアンケートを実施した。

【啓発チラシ】

【新規普及啓発ステッカー】



表



裏



(3) 地産地消型未利用食品マッチング受付業務

区内事業者から排出される未利用食品について、食品を必要としている区内の福祉団体等で有効活用するための広報活動、問い合わせ対応、受入先事業者との調整を実施した。

【令和6年度の実績】

マッチング実績	1件（1社）
マッチング内容	更新に伴う社員用備蓄食料等
主なマッチング先	社会福祉法人 大田区社会福祉協議会

(4) 食品ロス削減月間における普及啓発

「食品ロス削減に関する法律」にて制定された「食品ロス削減月間」における普及啓発資材の制作、関係団体への配布、広報活動等の業務を実施した。

【月間チラシ】



表



裏

(5) 食品ロス削減事業に関する調査

令和4年度から受託している食品ロス削減事業などを基本に、環境事業の更なる充実に向け、今後の事業実施における有効性や可能性を探るため、以下の項目などについて調査・研究した。

ア 食品ロス削減協力事業者のデータベース化

令和5年度に「区民運動おたクールアクション」賛同団体に対し実施した「OTA ふれあいフェスタ出展に関するアンケート」において、「食品ロス削減に関する取組について」回答のあった団体へ追加アンケートを実施した。また、得られた結果から各事業者毎のデータベースを作成した。

イ 啓発イベントにおける手法等の検討

実際にイベントに出展し実践の中で啓発手法を検討するとともに、区内外におけるイベントを視察し啓発手法の参考とした。

【出展イベント】

丸子の渡し祭り 11月10日(日) パネル展示を行うとともに、「もったいないゲーム(注2)」を行った。来場者には、食ロス削減リーフレット、食べきり応援団チラシと参加賞を配布した。また、食品ロス削減に関するアンケートをSNSで実施(抽選による賞品付き)した。	
第24回エコフェスタ 3月8日(土) パネル展示を行うとともに、「もったいないゲーム」を行った。来場者には、食ロス削減リーフレット、食べきり応援団チラシと参加賞を配布した。また、食品ロス削減に関するアンケートをSNSで実施し記念品を配布した。	

注2：賞味期限・消費期限をクイズ形式で楽しみながら理解してもらうゲーム

ウ 外食持ち帰りに関する調査

大田区食べきり応援団登録事業者のうち、飲食店舗に対し、持ち帰りに関するアンケートを実施した。

エ 食品ロス削減につながるレシピの作成

「食材を丸ごと使用する」をコンセプトに、一つのメニューを作る際の余った端材(廃棄する部分)を使用したメニューも考え、食材によっては2つのメニューをセットとしたレシピを3件作成(セット2件、単体1件)した。なお、本件については、大田区食べきり応援団登録事業者「オーガニック料理教室 G-veggie」と連携し作成した。

キャベツの巻



【パネル一式】



7 職員の健康の維持・増進に関する取り組み

「おおた健康経営事業所」のブロンズランク認定や、全国健康保険協会（協会けんぽ）の「健康企業宣言®」を実施するなど、職員の健康維持・増進に取り組んでいます。また、労働安全衛生委員会に労働災害再発防止専門部会を設置し安全管理体制の強化に取り組むなど、公社としての組織的な取り組みを推進しています。

今年度の健康維持・増進に関する研修では、8月から2月までに、「人生100年・食事の見直し」「ストレスとの付き合い方」等の4テーマについて、田園調布本部・京浜島環境資源センターにおいて各所2回実施し、合計16回開催しました。また、今年度2月までに発生した労働災害止専門部会を5回開催し、安全管理体制の強化に取り組みました。

8 理事会、評議員会及び評議員選定委員会の開催

（1）理事会

会議名	日時・人数	議題
第1回定時	5月1日(水) ・理事 6名 ・監事 2名	・令和5年度事業報告書（案）について ・令和5年度決算書（案）について ・定款の変更（案）について ・理事及び監事就任候補者の推薦について ・評議員就任候補者の推薦について ・令和6年度第1回定時評議員会の開催について
第1回臨時	5月17日(金) ・理事 6名 ・監事 1名	・理事長（代表理事）の選定について
第2回臨時 （書面決議）	7月1日(月) ・理事 6名 ・監事 2名	・評議員候補者の推薦について ・評議員選定委員会の開催について ・報告第1号 評議員選定委員について
第3回臨時 （書面決議）	7月10日(水) ・理事 6名 ・監事 2名	・理事候補者の推薦について ・令和6年度第1回臨時評議員会の開催について ・報告第1号 評議員について
第4回臨時	9月24日(火) ・理事 6名 ・監事 2名	・規則等の改正（案）について ・報告第1号 理事長の職務の執行状況の報告について ・中期経営計画骨子（案）について

会議名	日時・人数	議題
第5回臨時 (書面開催)	12月20日(金) ・理事 6名 ・監事 2名	・職員就業規則等の改正(案)について ・職員給与規程等の改正(案)について
第2回定時	3月19日(水) ・理事 5名 ・監事 2名	・令和7年度事業計画書(案)について ・令和7年度収支予算書(案)等について ・規則等の改正(案)について ・中期経営計画(案)について ・令和6年度第3回臨時評議員会の開催について ・報告第1号 理事長の職務の執行の状況報告について
第6回臨時 (書面決議)	3月31日(月) ・理事 6名 ・監事 2名	・評議員候補者の推薦について ・監事候補者の推薦について ・評議員選定委員会の開催について ・令和7年度第1回臨時評議員会の開催について

(2) 評議員会

会議名	日時・人数	議題
第1回臨時 (書面決議)	4月1日(月) ・評議員 6名	・理事の選任について ・監事の選任について
第1回定時	5月17日(金) ・評議員 5名 ・監事 2名	・令和5年度決算(案)について ・定款の変更(案)について ・理事及び監事の選任について ・報告第1号 令和5年度事業報告について
第2回臨時 (書面決議)	7月12日(金) ・評議員 6名	・理事の選任について
第3回臨時	3月19日(水) ・評議員 6名	・令和7年度事業計画(案)について ・令和7年度収支予算(案)等について ・報告第1号 中期経営計画について

(3) 評議員選定委員会

会議名	日時・人数	議題
第1回選定委員会 (書面決議)	5月20日(月) ・委員 5名	・評議員の選任について
第2回選定委員会 (書面決議)	7月5日(金) ・委員 5名	・評議員の選任について

一般財団法人 大田区環境公社 令和6年度役員名簿
(令和6年7月12日現在)

理事名簿

役 職	氏 名	現 職
理事長	安藤 充	(一財)大田区環境公社代表理事
理事	鈴木 英明	大田区自治会連合会会長
理事	島田 正文	日本公園緑地協会副会長
理事	西山 正人	大田区まちづくり推進部長
理事	山田 良司	大田区環境清掃部長
理事	榊原 健司	(一財)大田区環境公社事務局長

監事名簿

役 職	氏 名	現 職
監事	鳥海 美穂	公認会計士
監事	杉村 由美	大田区会計管理者

評議員名簿

役 職	氏 名	現 職
評議員	高瀬 三徳	大田区議会まちづくり環境委員会委員長
評議員	秋成 靖	大田区議会まちづくり環境委員会副委員長
評議員	小山 君子	大田区清掃・リサイクル協議会会長
評議員	西 義雄	株式会社 西商店 代表取締役
評議員	原田 由季子	藤東造園建設株式会社 代表取締役
評議員	齋藤 浩一	大田区企画経営部長

評議員選定委員名簿

役 職	氏 名	現 職
評議員選定委員	中島 寿美	六郷地区自治会連合会会長 おおたクルアクション推進連絡会副会長
評議員選定委員	坂野 達郎	東京工業大学名誉教授 おおたクルアクション推進連絡会副会長
評議員選定委員	西 義雄	株式会社 西商店 代表取締役 (一財)大田区環境公社 評議員
評議員選定委員	杉村 由美	大田区会計管理者 (一財)大田区環境公社 監事
評議員選定委員	榊原 健司	(一財)大田区環境公社 事務局長 (一財)大田区環境公社 理事